

別紙① JFA 第 30 回バーモントカップ全日本 U-12
フットサル選手権大会福岡県大会地区予選について

(公社) 福岡県サッカー協会フットサル委員会

以下の理由により、JFA 第 30 回バーモントカップ全日本 U-15 フットサル選手権大会の福岡県内の地区予選は実施しないものといたします。

4月7日付けで、政府より発出された緊急事態宣言が本県にも適用されたことを受け、福岡県サッカー協会からも、4月8日付けで、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて、『緊急事態宣言』発令による公式戦の実施禁止に関するご連絡』が出されました。文書には緊急事態宣言が解除されるまで公式戦禁止の旨、明記されています。現在予定されている地区予選の期日は、緊急事態宣言の一応の期限である5月6日以降である地区が殆どです。しかし、5月6日をもって宣言が解除される保証は何もない状況に置かれています。仮に、5月6日に宣言が解除されたとしても、選手の体調維持の面からもケガのリスクの面からも、解除されて日が浅い時期に予選を開催することは危険且つ無理があるとの判断を下すことと致しました。

また、フットサル・サッカーともに、宣言が解除されるまでの期間、公式戦を実施することができない状況下において、地区予選と県大会の両方を実施するためには、5～6日を要することとなり、4種リーグへの影響が出てくることは必至です（現時点において県大会は、6月20日・28日に筑後広域公園体育館、7月11日・12日に嘉穂総合体育館の4日間で開催する予定です）。こうした影響を最小限にとどめるためには、フットサルに拘束する期間を必要最低限の日数にしていく必要があります。このことを具現化していくためには、地区大会は実施せずに県大会のみ実施するのが、フットサルとサッカーのバランスを考えたとき、最良の方法であるという考えに至りました。

以上、地区大会を実施しない根拠について、物理的な面からの理由を述べましたが、大前提は、新型コロナウイルス感染拡大防止に寄与していく考えであることは言うまでもありません。